

科目名	こどもの保健（講義）Ⅰ		担当教員	有馬 祐子		
			担当形態	単独		
テキスト	「子どもの保健Ⅰ」ななみ書房 「子育てハッピーアドバイス知ってよかった小児科の巻」万年堂出版 「あたりまえだけどとても大切なこと」草思社	単位数 授業形態	2単位	講義	開講時期	前期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの心身の健康及び保健活動の意義と目的について理解し説明できる。 ・こどもの身体の発育や生理機能及び運動機能、精神機能の発達について理解し説明できる。 ・こどもの疾病とその予防法及び保育者としての適切な対応に関する基礎的な知識を学び、健康の自己管理の重要性を考察することができる。 ・こどもの健康状態の観察と把握について理解し説明できる。 <p>■授業の概要</p> <p>健康とは何か、あらゆる角度から洞察していく。様々なケースを考察しながら、こどもばかりでなく、自分自身の生活を見つめ、様々な年齢の人間が「健康的に生きる」とはどういうことなのか考察していく。人間には、そもそも体調を整える力（治癒力）が備わっている。しかし、幼いこどもは、身体発達上は未成熟である。本授業では、こどもの人的環境、生活環境が健康にどのように影響するのか、基礎的発育を学びながら考察していく。ディスカッション、発表も取り入れ、学習を深めていく。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション こどもの環境（人的環境・生活環境）</p> <p>第2回 健康とは何か、こどもの健康及び保健活動の意義と目的とは何か①</p> <p>第3回 健康とは何か、こどもの健康及び保育活動の意義と目的とは何か②</p> <p>第4回 生物としてのヒトとは何か</p> <p>第5回 身体発育と保健①</p> <p>第6回 身体発育と保健②</p> <p>第7回 生理機能の発達①</p> <p>第8回 生理機能の発達②</p> <p>第9回 いのちとは何か</p> <p>第10回 運動機能の発達</p> <p>第11回 精神機能の発達</p> <p>第12回 親子のコミュニケーションのあり方について</p> <p>第13回 こどもの感染症①</p> <p>第14回 こどもの感染症②</p> <p>第15回 まとめ</p> <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業時に与えられた課題は、次回授業時までには必ず内容を把握すること。 ・授業の記録は、時々点検する予定なので、提出できるノートを用意し、記録の整理をしておくこと。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み（ディスカッションへの積極的な取り組み、発言内容） — 20% ・授業でのワークシート — 30% ・レポート — 50% <p>未提出の課題がある場合は単位を認定しない。</p>						
参考文献	授業中に適宜示す。		特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時には必要なものを整頓し、片づけるべき道具はしまうこと。 ・A4サイズのレポート用紙を準備すること。 ・課題の提出においては、書式、提出期日を守ること。 ・単位を修得出来ない場合、「こどもの保健（演習）」は履修出来ません。 		
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格必修		幼			
			保	保育の対象の理解に関する科目		